

2022年6月21日発行

22-25号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**自分とは**

自分は一体、何者なのか？また、何者になりたいのか？新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）による驚くような変化が、自分は何者かという悩みを持つのに十分な不確実性をもたらしたのではないかということで、「自分」をテーマに、米国の発達心理学者エリク・エリクソンとフランスの哲学者ミシェル・セールの考えを紹介している記事がありました。

エリクソンはアイデンティティーの概念で知られています。アイデンティティーとは自己同一性とも訳され、分かりやすくいうと、「自分が何者なのか分かっている」ということだそうです。人間は成長しますし、また環境も変化していきます。そんな中で、いろいろな役割を演じなければならないのですが、そのような多様な自分を統合する何かがあるはずだということです。それこそがアイデンティティーだと言われます。つまり、私たちの中に自分の基となる素質があるということです。そして、それが経験の中で発達すると同時に、新たに形成されていくと言われます。

これに対して、ミシェル・セールは、そもそも「確固たる自分などない」と主張しているということです。デカルトが「我思う、ゆえに我あり」と言ったのですが、セールは、思う（考える）には、対象が必要で、その対象がなくて考えられないとしたら、デカルトの言うとおりなら、自分が存在しないことになるということです。それゆえ、なにか「対象」があってこそ、自分は存在するので、自分が何者なのかは相手や対象次第なので、エリクソンが言うような、確固たるアイデンティティーは存在しないということです。

記事では、自分がある程度、確立されているとしても、変化する存在なので、自分は何者かという悩みは死ぬまでつきまとうだろうと言われていました。（６月１６日日経ビジネス＜自分は何者か、何者でもないのか　哲学には答えがある＞）

人間はなにか、根本的な部分を知らなければ、自分がだれかはわかりません。すべての人間に共通する原理を知り、人間の本質や動物とはちがうことを知って、それを自分のこととして認めるなら、自分はなにかが分かるようになります。哲学では到底わからない、人間の本質について、あなたにお分かちしたいことがあるのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください